

2025 年 香川県歯科技工士会、歯科衛生士会合同講演会

2025 年 8 月 17 日

タイトル：

三位一体で取り組むライフコースアプローチの歯科医療

～ ここから広がる歯科技工士、歯科衛生士の可能性 ～

歯科技工士 / 歯科衛生士 小林明子（東京都 小林歯科医院副院長）

抄録

令和 5 年 5 月、厚生労働省は第三次健康日本 21 を発表し、その中で“ライフコースアプローチ”を掲げました。“生涯切れ目のない健康づくり対策を行っていく”ことを目指すもので、歯科医療においては“生涯を通じて噛める健康を提供していく“ことが重要な役割を担うようになりました。歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の三位一体での取り組みが求められています。歯科衛生士が歯科医師とともに日々歯科医療に携わっているという実感がある一方で、歯科技工士は「歯科技工は医療なのか？」という問いに対し、なかなか

「Yes!」と答えることができないのが現状ではないでしょうか。本講演では、ダブルライセンスの臨床経験から、歯科技工士と歯科衛生士の視点の違いを問題提起するとともに、すでに始動している高度専門歯科技工士や専門歯科衛生士の取り組みなどを踏まえ、これからの歯科技工士、歯科衛生士の可能性と展望について述べたいと思います。